

平成26年度笠松町社会福祉協議会事業報告

1 会議

(1) 理事会

第1回

期日 平成26年5月19日

内容 評議員の委嘱同意・定款の一部改正・平成25年度事業報告
平成25年度決算 平成26年度補正予算

出席 理事8人・監事2人

第2回

期日 平成26年6月1日

内容 会長選任・副会長選任

出席 理事7人・監事2人

第3回

期日 平成26年9月11日

内容 第三者委員選任・社会福祉大会・災害ボランティアセンター運営訓練

出席 理事8人・監事1人

第4回

期日 平成27年3月20日

内容 経理規程の改正・応急生活資金貸付事業規程の一部改正
平成26年度補正予算・平成27年度事業計画・平成27年度予算

出席 理事6人・監事1人

(2) 評議員会

第1回

期日 平成26年5月23日

内容 理事選任・監事選任・定款の一部改正・平成25年度事業報告
平成25年度決算・平成26年度補正予算

出席 評議員13人・会長・監事1人

第2回

期日 平成27年3月24日

内容 経理規程の改正・平成25年度補正予算・平成26年度事業計画
平成26年度予算・災害ボランティアセンター運営訓練

出席 評議員17人・会長

(3) 監査会

期日 平成26年5月1日

内容 平成25年度事業決算監査

出席 監事2人 会長

(4) 部会

調査広報部会

第1回 期日 平成26年 4月10日 内容 「かさまつ社協」第147号

第2回 期日 平成26年 6月13日 内容 「かさまつ社協」第148号

第3回 期日 平成26年 8月12日 内容 「かさまつ社協」第149号

第4回 期日 平成26年10月14日 内容 「かさまつ社協」第150号

第5回 期日 平成26年12月10日 内容 「かさまつ社協」第151号
 第6回 期日 平成27年 2月 9日 内容 「かさまつ社協」第152号

2 社協体制の強化

(1) 社協会員制度

本会の主旨に賛同する住民・法人・団体等に会員にいただき、会員と共に地域福祉を進める。

会員・会費の状況

種 別	地 域	加入数	口数	金 額	加入率
一般会費	笠 松	2,116	2,154	1,077,000円	85.9%
	松 枝	2,366	2,404	1,202,500円	78.1%
	下羽栗	1,128	1,128	564,000円	62.1%
	計	5,610	5,686	2,843,000円	76.1%
法人会費	笠 松	118	131.75	263,500円	—
	松 枝	89	120.00	240,000円	—
	下羽栗	85	104.75	209,500円	—
	その他	5	5.00	10,000円	—
	計	297	361.50	723,000円	—
賛助会費	—	258	297	297,000円	—
計				3,863,000円	—

※ 一般会費加入率=加入数/町内広報配布数 (7,320)

3 広報・啓発

(1) 広報紙「かさまつ社協」発行 (年6回 8,600部)

全世帯・事業所に配布し、福祉啓発

社会福祉協議会の収支決算及び事業報告、またボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、授産所だよりなどの情報を提供

(2) 社会福祉大会

町民、福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の進展に努力することを確認

講演等を行い、福祉に理解を得る 手話通訳実施 参加者200人

期日 平成26年11月2日

会場 中央公民館 大ホール

内容 大会宣言採択 福祉メッセージ表彰 表彰・感謝状贈呈

記念公演 防災エンスショー

～科学で考える地震と防災～

講師 防災士 サイエンスインストラクター 阿部 清人 氏

実践発表「ふれあいいいきサロン」

かさほサロン運営スタッフ

授産所活動紹介 (作品・バンブークリップパネル展示)

(3) リバーサイドカーニバルへの参加

本会の事業等をPRのために参加

期日 平成26年10月19日

内容 介護保険事業パネル紹介 介護相談 地域包括支援センター紹介

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談・連絡調整 研修会等の開催

ボランティアセンター登録数

団体ボランティア 19団体 453人 個人ボランティア 28人
実ボランティア数 480人

(2) ボランティア講座

①障がい者ボランティア講座

発達障がいや自閉症についての理解を深め、障がいのある方の地域生活を支える
ボランティアの養成を図る

期日 平成26年7月17日

会場 笠松町心身障害者小規模授産所

内容 講話 障がい（発達障がい、身体障がい）についての理解
障がいのある方との接しかた・ボランティア活動について

講師 笠松町心身障害者小規模授産所主任指導員

施設見学

人数 5人（7人申込）

②配食ボランティア研修会

配食サービスのボランティア活動について、意見交換を行い、今後の活動に繋げていくことを目的に開催。

期日 平成27年3月26日

会場 笠松町福社会館

内容 事例発表

各務原市社会福祉協議会鶴沼第三連合支部友愛委員会委員長 森 勇 氏
ワークショップ、意見交換

人数 45人

(3) 技術ボランティアの育成

さぁ！あなたも!!地域デビュー講座

福祉出前講座のサポーターを養成する。学校で子ども達と触れ合うことにより、地域での交流につなげていく

期日 平成27年3月30日

会場 福祉健康センター

内容 福祉出前講座のサポーター養成

車いす体験・高齢者疑似体験の実施方法等の学習

人数 9人

(4) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

期日 平成27年1月17日

会場 福祉健康センター

内容 岐阜県社会福祉協議会と岐阜地域の社会福祉協議会と合同で実施。

震度6強の直下型地震を想定し、災害時におけるセンターの立ち上げ、運営方法について検証し、職員が災害時における役割を確認することを目的に開催。

町内会長、民生委員やボランティアなどに参加を呼びかけロールプレイを実施。

参加者 住民・ボランティア 105人 県社協職員 7人 岐阜地域社協職員 19人

(5) その他ボランティア活動推進のための事業

①ボランティア保険の加入促進・加入手続

Aプラン 415人、Bプラン 54人、天災Aプラン 4人、天災Bプラン 2人
計 475人

②ボランティア情報の提供

ボランティア募集、研修会案内、活動紹介等を広報紙「かさまつ社協」等で行う施設での話し相手、手品、歌などの余興ボランティアを施設へ情報提供

5 高齢者福祉

(1) ひとり暮らし高齢者配食サービス

高齢者の食生活の健全化と配達時の交流を目的に実施

期日 笠松地域 月1回 7回（6・7・8・9・11月を除く） 490食

場所 中央公民館

期日 松枝地域 月1回 7回（5・7・8・9・11月を除く） 315食

場所 松枝公民館

期日 下羽栗地域 月1回 9回（7・8・9を除く） 91食

場所 下羽栗会館

総配食数 896食

内容 各地域ボランティアに依頼し、ひとり暮らし高齢者に弁当を配達してもらう
対象数（3月）－ 笠松 70人 松枝 45人 下羽栗 10人

(2) ひとり暮らし高齢者及び高齢者昼食会

平成25年度より笠松、平成26年度より松枝・下羽栗、笠松町型町民活動推進支援事業補助金を申請実施

高齢者が会場まで出向き、参加者やボランティアとのふれあい交流を図る。

期日	場所	内容	人数
5月13日	松枝公民館	軽体操 松枝保育所園児との交流	高齢者 64人 ボランティア 20人
5月27日	下羽栗会館	日本舞踊 下羽栗保育所園児との交流	高齢者 60人 ボランティア 15人
6月 8日	中央公民館	レクリエーション	高齢者 130人 ボランティア 40人
11月11日	松枝公民館	軽体操 双葉幼稚園児との交流	高齢者 62人 ボランティア 20人
11月27日	下羽栗会館	日本舞踊 下羽栗保育所園児との交流	高齢者 62人 ボランティア 20人
12月 5日	中央公民館	レクリエーション	高齢者 130人 ボランティア 40人

- (3) ひとり暮らし高齢者向け広報紙「えがお」発行
 高齢者への情報提供及び民生委員に配布を依頼し、状況を把握してもらう
 期日 毎月発行
 内容 ひとり暮らし高齢者向けの手作り広報紙
 絵手紙、おでかけ、歌のコーナー、読者のページ、保健師だよりなど

- (4) ひとり暮らし高齢者等グループづくり事業（ふれあい・いきいきサロン）
 内容 ひとり暮らし高齢者及び地域の高齢者等の生きがいくつくりと組織化
 高齢者、民生委員、ボランティアが近くの集会所等に集まり、世間話や軽体操、レクリエーションなどを行う
 8サロン（門間・萩の会・木曜会・善光寺・金池・かさほ・無動寺・らくらく）

サロン名	開催日(原則)	対象町内(原則)
門間サロン	毎月第2水曜日	中門間
萩の会サロン	毎月第2水曜日	田代東
木曜会サロン	毎月月末(1回)	瓢町 桜町
善光寺サロン	毎月第1水曜日、第3土曜日	下新町 新町 天王町
金池サロン	毎月第4日曜日	西金池町 若葉町
かさほサロン	毎月第3水曜日	西宮町 東宮町 上柳川町 下柳川町 門前町
無動寺サロン	毎月第3金曜日	無動寺
らくらくサロン	毎月第3土曜日	友楽町 瓢町 桜町 美笠通1・2・3丁目

- (5) ふれあい・いきいきサロンリーダー研修会
 期日 平成27年3月25日
 会場 福祉健康センター
 人数 36人
 内容 現在開催しているサロンの代表者や新規サロン立ち上げに興味・関心のある方を対象にサロンの情報交換などを行うことでより充実したサロンが継続できるよう、また新規サロンが立ち上がるように研修会を開催

- (6) 歳末たすけあい事業
 ①布団丸洗い乾燥
 新年を気持ちよく迎えてもらうために、寝たきり、認知症高齢者世帯対象に布団の丸洗い乾燥を行う 3世帯
 ②歳末大掃除
 新年を気持ちよく迎えてもらうために、寝たきり、認知症高齢者世帯対象に大掃除を行う(シルバー人材センターへ依頼) 1世帯

6 児童福祉・福祉教育

(1) 福祉出前講座

内容 福祉全般についての啓発 職員が出向き講座を開催 車いすの操作方法や福祉制度・介護保険等の話をする 学校・企業・地域の団体を対象

実施日 笠小 4/28 講話 福祉について 松小 5/30 講話 福祉について
 松小 6/17 高齢者疑似体験 笠小 7/2 車いす体験
 笠小 7/14 高齢者疑似体験 笠小 7/15 高齢者疑似体験
 下小 9/3 視覚障がい体験 下小 9/4 点字の学習
 松小 11/20 車いす体験

(2) 福祉教育推進事業

内容 学校の福祉に関する授業等の進め方のアドバイスや障がいを持つ方や手話通訳者等の紹介等をする（実施要請なし）

(3) 福祉キャラバン事業

内容 子どもたちの優しさや思いやり等の「福祉の心」を育むことを目的として実施する また、事業の公開・啓発等により、保護者や地域住民への福祉に関する理解の促進を図る

①松枝小学校（午前） 松枝保育所（午後）（下羽栗保育所の年長児と）

期日 平成26年11月25日

内容 車いすでの生活と車いすバスケットについて

講師 岐阜SHINE

②下羽栗小学校

期日 平成26年12月10日

内容 車いすでの生活と車いすバスケットについて

講師 岐阜SHINE

③笠松保育園（午前） 笠松双葉幼稚園（午後）

期日 平成26年12月17日

内容 全盲のピアニストの方のお話と演奏

講師 桑原 良恵氏（視覚障がい者）

④笠松小学校

期日 平成27年1月30日

内容 盲導犬についての学習

講師 中部盲導犬協会

(4) ふくし体験教室

内容 福祉教育の一環として、体験や障がいのある方との交流を通して、福祉や障がい者ボランティア等に関する幅広い知識や理解を子どもたちに身につけてもらい、ボランティアの基盤づくりや、「福祉のまちづくり」へつなげていく 参加者数 延べ22人（申込者5人 修了者5人）

回	開催日	テーマ	内容	参加数	小学生	中学生	場所
1	6月7日	①車いすの学習 ②お年よりになったら？	開校式 ①車いす体験と車いすスポーツ ②高齢者疑似体験	4	4	—	福祉健康センター

2	7月5日	お年よりとふれあおう！ 認知症って？	認知症についての学習 グループホーム 昭和館まどか 入所者との交流	5	5	—	中央公民館 昭和館まどか
3	8月7日	①障がいについて学ぼう ②補助犬ってなあに？	障がいについての学習 障がい者の方との交流 補助犬についての学習 介助犬総合訓練センターの見学	5	5	—	笠松町心身障害者小規模授産所 介助犬総合訓練センター
4	9月6日	①手ではなそう！ ②見えない世界はどんな色？	①手話の学習 聴覚障がい者の方との交流 ②視覚障がい者体験 点字の学習	4	4	—	福祉健康センター
5	10月4日	募金活動をしよう！	街頭募金活動 終了式	4	4	—	トミダヤ

(5) 小学生のためのボランティアスクール

高齢者とのふれあいや体験等を通じて、福祉やボランティアに対する興味、関心や理解を深めることを目的として開催。対象は小学生4～6年生

期日 ①平成26年7月28日 ②平成26年7月29日

場所 特別養護老人ホーム リバーサイド笠松園

内容 特別養護老人ホーム訪問し、特殊浴槽等の施設の見学や、入所者とのふれあい

人数 ①6人(笠小1人・松小3人・下小2人)②10人(松小8人・下小1人・笠中1人)

(6) 中学生・高校生のためのボランティアスクール

2日間通し、高齢者とのふれあいや車いす体験等を行い、福祉やボランティアに対する興味・関心や理解を深めることを目的として開催

対象 笠松町に在住在学の中学生・高校生

① 高齢者コース

期日 ①平成26年7月22日・23日 申込者1人のため中止、小ボラスクに参加
②平成26年7月24日・25日 申込者なしのため中止

場所 特別養護老人ホーム リバーサイド笠松園

内容 特別養護老人ホームを訪問し、特殊浴槽等の施設の見学や、入所者とのふれあいを通して、福祉についての関心を高める

② 障がい者コース

期日 平成26年7月28日・29日

場所 笠松町心身障害者小規模授産所

内容 小規模授産所を訪問し、利用者と2日間共に過ごす。
授産所の役割、障がいについての理解を深める

人数 申込者なし中止

(7) ボランティアグループKind育成(支援)事業

ふくし体験教室に参加し、福祉について学んだ小・中学生らが、教室の修了後も継続してボランティア活動に取り組むことを目的として設立

参加者 延べ196人(登録者31人)

開催日	内 容	参加数	場 所
4月12日	メンバーの顔合わせ (15年度～25年度ふくし体験教室修了生) 年間活動計画づくり	23	福祉健康センター
5月10日	年間活動計画づくり レクリエーションの準備	14	福祉健康センター
6月14日	保育所での活動に向けての準備	12	福祉健康センター
7月12日	保育所の園児との交流	11	松枝保育所
9月13日	勉強会(福祉についての学習)	13	福祉健康センター
10月4日	赤い羽根共同募金 街頭募金活動	19	トミダヤ笠松店 ピアゴ笠松店
10月11日	授産所生との交流・空き缶の仕分け (ないすはあ～との会へ参加)	11	笠松町心身障害者 小規模授産所
10月18日	バザー用品の値札付け リバーサイドカーニバルの打合せ	23	福祉健康センター
10月19日	赤い羽根共同募金バザー (リバーサイドカーニバル)	23	みなと公園
11月15日	ひとり暮らし高齢者への年賀状作成	9	福祉健康センター
12月13日	ひとり暮らし高齢者とのクリスマス会	18	福祉健康センター
3月31日	メンバーでの交流会 (昼食作り、体育館でレクリエーション)	20	福祉健康センター 松枝南体育館

(8) 福祉教育担当者会議

福祉教育の一層の充実を図るため、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校・教育委員会・本会事務局の担当で構成し、福祉教育の進め方等を検討

第1回 期日 平成26年5月16日 参加者11人

会場 福祉健康センター

内容 福祉教育実践に関する情報交換、情報提供、社協事業紹介

第2回 期日 平成27年3月9日 参加者9人

会場 福祉健康センター

内容 26年度における本会と各学校福祉教育関連事業の報告
来年度の取り組みについて

(9) 教職員福祉学習研修会

福祉教育を行うために必要な知識と経験を得るため、車いす体験、視覚障がい者体験、高齢者疑似体験などや障がい者の講話による障がい者理解、福祉教育の取り組みに関する意見交換等を行う

期日 平成26年8月18日 参加者28人

会場 松枝小学校

内容 各種疑似体験と知的障がい者の家族の方のお話

(10) 福祉メッセージの募集

福祉メッセージを募集することにより、福祉について考えるきっかけをつくる
中学生・小学生から募集 大賞・優秀賞・佳作を選考し、表彰

入賞作品を広報紙に掲載し、町民への福祉啓発をする
 (平成26年10月10日 審査会開催) メッセージ集の作成
 応募総数 小学生958点 中学生480点 計1,438点

(11) 地域懇談会の開催

地域の方が抱えている課題やニーズを把握・共有し、地域住民と一緒に解決に向けた方策を考えていき、地域の福祉力を向上するために開催

来年度全域での開催に向けて無動寺町内会でモデル実施

期日 平成27年3月14日

会場 無動寺集会所

内容 社会福祉協議会の組織・事業の紹介
 ワークショップ「無動寺を語ろう」

進行 中部学院大学短期大学部 准教授 大井 智香子氏

参加者20人

7 障がい者(児)福祉

(1) 心身障害者小規模授産所の運営

心身に障がいのある人が、授産所に通所することにより、働くことに生きる喜びを持ち、また地域との関わりを通して、社会的自立及び生活の向上を図る

定員20人

通所者11人 内 知的障がい者8人 身体障がい者1人 精神障がい者2人

授産事業収入 934,694円

紙バック 734,814円 アルミ缶 103,960円 農作物 31,800円

自主製品 34,120円 万灯綿芯製作 30,000円

(2) ふれあいもちつき会

知的障がい児者家庭の相互交流・障がい児とのふれあいによる障がい児者福祉への理解の促進を図る

期日 平成27年1月24日

場所 福祉健康センター

内容 レクリエーション・もちつきをして交流

人数 知的障がい児者15人・家族26人・ボランティア28人 計69人

(3) サマースクール

特別支援学校等に通う障がい児者の夏休み期間中の保護者負担軽減、生活リズムの維持を目的として開催 参加者 障がい児者延59人・ボランティア延55人

期日 平成26年7月26日から8月30日の毎週土曜日

内容 レクリエーション、おやつづくり、調理実習、おでかけ 等

日付	内容	参加数	ボランティア	場所
7月26日	体操・ゲーム 笠松小学校 近藤先生・松原先生	11	6	福祉健康センター
8月2日	ダンス・工作 岐南北小学校 武山先生	13	10	福祉健康センター

8月9日	調理実習 カレー・サラダ	11	14	大垣市スイトピアセンター
8月16日 ※中止	笠松中学校 田辺先生	13	6	福祉健康センター
8月23日	ダンス・紙ひこうき作り 下羽栗小学校 丹羽先生	12	13	福祉健康センター
8月30日	おでかけ 日本昭和村	12	12	福祉健康センター

8 在宅福祉

(1) 福祉機器貸出

寝たきり高齢者及び身体障がい者に対して福祉機器（ギャジベット・車いす等）を貸し出し、福祉の増進を図る

貸出料—無料 消毒・搬出搬入料—自己負担

新規貸出件数 25件（車いす24件・吸引器1件）

年度末貸出件数 7件（ギャジベット4件・車いす3件）

(2) 歳末たすけあい事業

歳末見舞金配布

生活保護、準要保護世帯対象に歳末見舞金を民生委員の協力により配布

※平成26年度より、世帯一律5,000円配布

世帯	世帯数	金額(円)
生活保護	54	270,000
準要保護	65	325,000
合計	119	595,000

(3) 日常生活自立支援事業の推進

判断能力や日常生活に不安のある方が、住み慣れた地域で安心した生活ができるように福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービスや書類等預かりサービス等を行う（利用者 1名）

(4) 応急生活資金貸付事業

生活困窮世帯で当座の生活費に困窮している者に対し、急場の援助をすることを目的に無担保、無保証で10,000円を限度に貸付

貸付件数 3件（30,000円）

返済件数 5件（48,000円 内H24年度分10,000円 H25年度分8,000円）

9 相談事業

(1) 福祉何でも相談窓口

気軽に相談できる窓口を開設し、住民ニーズの把握、適切なアドバイス、関係機関との連絡・調整、問題の解決を図る

365日相談8:30~17:30 休日は携帯電話対応

相談員－福祉活動専門員

10 介護保険

(1) 居宅介護支援事業

介護保険の利用相談・サービス計画の作成・サービス事業者との調整・給付管理
延利用者数 1,344人(介護予防支援192人含む)

(2) 訪問介護事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が対象者宅を訪問し、入浴、排泄、通院等の身体介護、買物・掃除等の生活援助を実施 延訪問回数 4,647回

11 障がい者福祉サービス事業

(1) 居宅介護・同行援護・移動支援

日常生活を営むのに支障のある身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の世帯に対してホームヘルパーを派遣し、日常生活の援助介助を行い、健全で安らかな生活を営むことができるよう援助 延派遣回数 1,176回

12 受託事業

(1) 地域包括支援センター事業(町から受託)

介護保険法に定められた包括的支援事業(総合相談・実態把握、介護予防ケアマネジメント、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント)の実施

介護予防支援事業所として笠松町から指定を受け介護予防支援を行う

介護予防支援延人数 1,524人

(2) 高齢者生活援助活動事業(町から受託)

日常生活を営むのに支障のある高齢者等の世帯に対してホームヘルパーを派遣し、日常生活の援助世話をを行い、健全で安らかな生活を営むことができるよう援助

延派遣回数 317回

(3) 介護保険訪問調査(行政から受託)

介護支援専門員による要介護認定のための調査 延調査件数 78件

(4) 生活福祉資金の活用指導(県社協から受託)

低所得・高齢者・身体障がい者等の世帯を対象に資金貸付

民生委員による指導・監督と必要な援助指導により経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるよう貸し付けを行う(貸付・償還中10件)

種類－ 総合支援資金(生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費)

福祉資金(福祉費・緊急小口資金)

教育支援資金(教育支援費・就学支度費)

不動産担保型生活資金

13 その他

(1) まちづくりイベント実行委員会

春まつり、川まつり、リバーサイドカーニバルに実行委員会構成団体事務局として準備段階から参画

(2) 岐阜県共同募金会笠松町分会

共同募金会事務局とし赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進募金活動・事務に従事

(3) 羽島市・羽島郡障害区分認定審査会

認定審査会委員として審査会に出席